

野あそび匠塾

趣旨 地域で活躍する各業種の匠が指導者となり、体験活動をととして地域の特色や自然への理解を深め、さらに環境教育等の視点も取り入れ、持続可能な社会を担う一員としてのきっかけづくりを行う。

企画運営のポイント

「釣り道具がなくて子どもを釣りに連れていけない」「火の活動を安全にさせてあげたい」といったアンケート等の要望を受けて事業の企画を行った。

運営時は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、1グループを4名にし、密が生まれないように配慮した。

また、1グループに1名のボランティア等を配置し、個別支援が手厚くできると同時に、安全に活動を行えるよう配慮した。

募集対象 令和3年度ひだか野あそび会員に登録した小学2年生～6年生

「火塾」

① 7月3日(土) : 14名

② 7月4日(日) : 20名

会場：国立日高青少年自然の家(グリーンホール)

内容：火起こし体験、おやつ作り

「釣り塾」

③ 7月22日(木) : 9名

会場：国立日高青少年自然の家、沙流川

内容：釣り体験

「虫塾」

④ 7月23日(金) : 53名

会場：国立日高青少年自然の家(施設周辺)

内容：虫とふれあい、昆虫採取

「川塾」

⑤ 8月28日(土)、29日(日)

(緊急事態宣言発令による中止のため、活動動画を配信)

内容：安全な川活動について(動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=LD0vCorswl0>

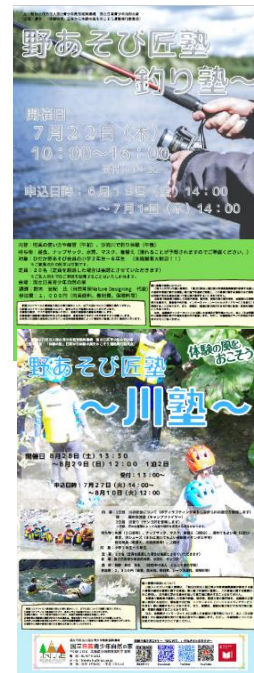
「野外メシ塾」

⑥ 10月9日(土) : 17名

⑦ 10月10日(日) : 17名

会場：国立日高青少年自然の家(グリーンホール)

内容：野外炊事、ナイフワーク、おやつ作り



「火塾」



「釣り塾」



「虫塾」



「川塾(動画配信)」



「野外メシ塾」



「野外メシ塾(おやつ作り)」

【成果】

- ・グループごとにボランティアを配置したことにより、安全に活動を実施することができた。さらに、ボランティアに任せる場面が多くなり、実践力を高めることにもつながった。
- ・3密に配慮しつつも子どもたち同士の交流を促すために、グループやペアでの活動場面を設定したことで異年齢でもお互いに協力する姿があり、「友だちができて楽しかった。」という感想も寄せられた。
- ・「匠」から活動を通して専門的知識を学び、「日高にはたくさん虫がいることがわかった。」「枝よりも葉の方がよく燃えることがびっくりした。」など、新たな発見をし、自然への理解を深めることにつながった。

【課題】

- ・対象が2年生～6年生と幅が広く年齢によって実施できる活動に差が開くため、同じテーマであっても実施日によって対象年齢を分け、内容の難易度を調整するなどを検討する必要がある。